平成31年1月16日

平成30年度第10回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 平成30年度いきいき教育活動表彰の被表彰者の決定について</p>	<p>平成30年度の「いきいき教育活動表彰」の被表彰者を決定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第1号及びその他(4)については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 平成30年度第9回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

4 その他

(1) 平成30年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間の実施状況について

(総務福利課長) 平成30年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間の実施状況、アンケート調査結果、県教育委員会の取組等について説明

(島津委員) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間は30万人を超える地域の方々が参加されている。鹿児島県の意識が高い表れであり、非常に良い取組である。

また、今年実施された特色ある取組の中には新しい取組も見られる。例えば、ありがとう集会、長島検定や津波を想定した避難訓練などは比較的新しいと思う。それぞれの学校がいろいろな取組をされており、非常に良いことである。

アンケート結果については、毎年同じような結果が出ているが、どのような形で学校にフィードバックされるのか。あるいは、市町村教育委員会と学校が改善のためにどのようなことをすればよいか協議する取組は行われているのか。

(総務福利課長) 各学校にはアンケート結果を返しているが、一つ一つの学校を吟味することは難しいので、それぞれの取組をホームページに掲載するなどして、各学校で工夫していただいている。また、教育事務所を通して取組の改善や工夫などを働きかけているところである。

(島津委員) 学校任せになっているところがあるかもしれない。せっかくアンケートをとっていただいているので、この辺を努力していただき、更に質の高い県民週間が実施されることを期待したい。

(原之園委員) 学校の方でも一生懸命取り組んでいるので、アンケート調査結果の意見・要望等の中に出てきているとおり、行政の方でも保護者に休みを取って参観できるような環境づくりやマスコミ等への広報を今以上に行っていただければ、学校も元気が出ると思う。行政の支援をお願いしたい。

(堀江委員) アンケート調査結果は昨年度とほぼ同じような内容であり、参加率も約25%で横ばいとなっている。

昨年度と比較できるように、各項目についての取組割合を拾っていき、授業参観への出席状況がどのくらいだったか、出席率80%

以上の学校がどのくらいだったか、授業参観や行事への出席率が改善されているのかどうか、改善されていたならば、どのようなことをしたから出席率が良くなったという形でまとめていただくと、他の学校の参考にもなると思う。昨年度と比較できる調査結果を今後検討していただきたい。

(総務福利課長) アンケート調査結果については、委員からの御指摘のとおり、昨年度と同じような形になっている。各学校や各市町村教育委員会へフィードバックし、この県民週間がより良いものになるよう活用してまいりたい。

(石丸委員) 地域に開かれた学校の役割が大切になってくると思う。この週間中はフリーで授業参観することができるが、不審者が入ってきて授業に支障が出ることはないか。学校の安全対策についてはいかがか。

(総務福利課長) この週間中は、各学校で入口に名簿を置き、許可証を首に掛け、外来者と分かるように区別しており、セキュリティに配慮している。授業の支障にならないよう、この週間中にこのような方が来られると児童生徒に前もって周知した上で実施している。また、アンケートには、フリーにしているとかえって入りにくいとも書かれていたが、メリハリをつけて行事と合わせた形と、平日いつでも都合の良いときに来ていただく形で実施している。

(2) 文化部活動の在り方に関する総合的なガイドラインについて

(義務教育課長) 文化部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定の経緯、主な内容等について説明

(島津委員) これまで運動部活動を中心にガイドラインを策定していたが、文化部については若干違う内容になっており、その辺への対応が従来どおりでは対処しきれないところがあるということで、このような形のガイドラインが出たのは非常に良いことだと思う。ただ、運動部の休養日については、疲労の問題やスポーツ科学的な根拠から時間の設定がされているが、例えば、音楽の演奏部など全ての文化部活動に活動時間が平日2時間と設定できるのか。検討はどのようにされたのか。

(義務教育課長) 資料でお示ししているのは、国が文化部活動の視点から作ったガイドラインであり、その中でも国の文化庁の方で専門家が集まり、音楽などの分野からも意見を聞きながら作ったところである。その結論として、週当たり2日以上休養日や平日2時間程度の活動時間を決められたと認識している。当然、この時間では終わらないという意見もあったとは思いますが、そこは合わせようと結果的には同じになったと伺っている。

(島津委員) これは国のガイドラインであるので、県としてどうするかについてはこれから検討していくことでよいか。

(教育長) 今後検討して説明させていただきたい。

(3) 「鹿児島をまるごと味わう学校給食」の実施について
(保健体育課長) 「鹿児島をまるごと味わう学校給食」の趣旨，内容，実施予定
等について説明

5 議案

議案第1号 平成30年度いきいき教育活動表彰の被表彰者の決定について
(非公開)

6 その他

(4) 平成31年度人事異動について
(非公開)

7 閉会